

(様式2)

宇川地域拠点施設整備基本計画（案）の概要

1 趣旨

宇川地域の久僧区にある旧下宇川保育所（通称：宇川アクティブライフハウス）は、昭和57年に建設された木造平家建（586.7㎡）の建物で、平成26年からは加工品製造、公民館活動、買い物支援活動など地域活動の拠点として地域に親しまれていますが、建設から40年が経過し老朽化が著しい状況にある中、持続可能な地域づくりに向け、今後の地域拠点の在り方が課題となっています。

本基本計画では、現在工事が進められている上野・平バイパス（国道178号線）の完成を見据え、宇川地域におけるコミュニティづくりや地域活動の拠点としてのあるべき姿を検討するとともに、設置する場所、導入すべき機能、施設規模など整備の基本的な考え方（コンセプト）や方向性をまとめた上で、地域住民の誰もが利用しやすく、親しみの持てる拠点施設の整備を目指し、当該施設の設計に必要な基本計画（案）を策定しました。今後、この基本計画をもとに事業の具体化を図っていきます。

2 概要

(1) 基本計画策定の背景及び目的

宇川地域拠点施設に係るこれまでの経過及び本計画の位置づけを示します。

(2) 現状と課題

宇川地域の現状と課題、また課題を解消、緩和するためにこれまで行われてきた地域づくりの取り組みについて整理します。

(3) 住民意見の把握と整理

地域拠点施設に関する住民意見を把握するためにこれまで実施したアンケートやワークショップの結果等について整理します。

(4) 先進事例の分析

地域の拠点施設を考えるうえで参考となる先進事例を示します。

(5) 基本的な考え方（コンセプト）と必要な機能

将来的に宇川の地域づくりの拠点となるべく施設を検討するうえで地域の課題解決のために必要な方向性をコンセプトとして示します。また、整備の方向性を踏まえ、施設に必要な機能や規模を整理します。

(6) 整備計画

候補地の検討（3つの候補地）や施設の配置検討（2種類の施設配置案）など具体的なイメージ図等で示します。

(7) 概算事業費及び事業スケジュール及び運営管理

他地域での実施設計事例や施工業者のヒアリングをもとに算出した概算事業費及び事業スケジュール及び運営管理手法を示します。